

高退教

岡山

第 177 号

2024年8月

岡山県高校・障害児学校
退職教職員会

〒703-8258

岡山市中区西川原255番地

岡山県教育会ビル3F岡山高教組気付

Tel (086)272-2245

Fax (086)272-2242

目 次

| | | |
|--|------------|----|
| 岡山高退教 第45回総会報告 | 美作支部 森藤康郎 | 1 |
| 定期総会 午後の学習 講演「ガザ侵攻とパレスチナ問題」背景と解決の糸口を探る | 旭東支部 岡田憲朗 | 2 |
| 2023年度高退教会計決算の「繰越金不足」について | 事務局次長 和田 茂 | 3 |
| 日頃の生活から生まれた意欲作が並んだ作品展 —第24回作品展開催される— | 岡山支部 島田宏恵 | 7 |
| 第2回新自然歴史探訪（通算52回）報告 —自然と歴史が織り成す「癒し」を求める旅— | 備西支部 清水親義 | 9 |
| 山村のご馳走（昼食レポート） | 岡山支部 衣笠祥子 | 11 |
| 再び注目をあびる「倉敷歴史民俗資料館」の スケッチ | 備西支部 武田芳紀 | 12 |
| 連載 出会いとスケッチの旅 ニュージーランド編(2) | 備西支部 水間正雄 | 13 |
| 高垣章二先生を偲ぶ | 岡山支部 岩上隆雄 | 15 |
| 編集部付記 | 事務局長 山本和弘 | 16 |
| 2024年度定期総会 返信ハガキの紹介 | 事務局 | 18 |
| 編集後記 | 編集部 | 23 |

岡山高退教 第45回総会報告

美作支部 森藤 康郎

7月7日、日曜日、梅雨の合間のこれでもかとばかりに晴れ渡った日に、岡山県生涯学習センターにおいて岡山高退教第45回総会は参加者46名により開催された。当日は会場でイベントが重なり、駐車スペースに苦勞された方もあったようだ。ちなみに、東京都知事選挙投票日でもあった。

開会の冒頭挨拶で、藤原会長より「組織の会員確保」についての問題提示があった。

続いて来賓挨拶で、高教組の村田委員長から、「現況、高教組の組織率は2割であること、本部専従役員2名、書記2名で運営していること。それでも中国5県の中では、まだましな方であること。」などの厳しい組合活動の現状が報告された、組合員2割という現実には、会場が一瞬冷気に襲われた感があった。現役時代（ついこの前のような気がするが、それでも10年前、20年前か）組織率5割維持が目標であったし、私が教員になった80年代は、9割は当たり前前の時代であった。歴史の変遷の中で、今や政府が賃上げの旗振りのポーズをしてみせるような時代となった。

そういう潮流にあって、『労働組合の意義』をどう次世代に伝えていけるのか、難しい課題と言わざるを得ない。組織率8割時代から5割時代に変化した頃の組合勧誘の難しさは実感していたが、2割時代の組合勧誘の難しさは想像を超えるものだろう。岡山高教組の奮闘に熱いエールを贈りたい。

さて議長選出で、井上俊清氏（岡山）、奥埜貴之氏（美作）が選ばれ、議事進行となった、まずは報告事項から。

小川副会長より、2023年度経過報告があり、和田事務局次長より決算報告、続いて津嶋会計監査委員より監査報告があった。その中で、郵便料金の振替手数料等諸経費の値上がり、高退教財政を圧迫しているというせち辛い報告があり、対応を検討する論議があった。

その後、議事は協議事項に移り、2024年度活動計画について山本事務局長より提案があり、承認された。

それに続き、予算案について大幅な修正報告の説明があり、承認された。2024年度役員についても、一部訂正の後、承認された。

新会員の紹介はなく、現会員の交流の中で、正保氏より倉敷市立図書館の民



営移管に反対する活動についてのその後の経過で、大幅な進展があったという報告があり、会場が大いに沸いた。

また、井上議長より「盲・聾学校の合体建て替え問題」について、歴史的見地より貴重な示唆に富む報告があり、大変勉強になった。効率化優先の教育施策に対して、学ぶ場所としての学校の意味を考えさせられた。

以上をもって午前の総会は終了し、午後からは難波副会長の楽しい体操をはさんで、長らく高退教役員として貢献いただいた鴨川・高垣両顧問をはじめ、今年度物故者となられた会員各氏に、全員で黙祷を捧げた。



午後は学習会で、徳方先生から、『ガザ侵攻とパレスチナ問題について』の講演があり、今一番ホットな話題なので、会場の質疑は盛り上がった。又、中国の南沙諸島進出についても、犬飼氏より示唆に富む発言があり、流石に元教員の集まりだなと感心した。

以上であるが、昼食前に全員で写真撮影をしたこと。美味しいお弁当は、おこわと赤飯の二択であったこと。それから今年度は、夕刻より懇親会が設定されており、参加予定の方々は、ウキウキ・ソワソワされていたこと。等を付け足して報告を終わりとしたい。

定期総会 午後の学習

講演「ガザ侵攻とパレスチナ問題」背景と解決の糸口を探る

旭東支部 岡田 憲朗

昼食、休憩、健康体操の後、「ガザ侵攻とパレスチナの問題」と題して、徳方宏治先生による講演をお聴きしました。私にとって先生はかつての恩師で、世界史を教えていただきました。授業中にウトウトして叱られたこともありました。

この講演は、今年4月、岡山・旭東支部春の交流会で話していただいたのですが、今回の総会でぜひもう一度全県の会員の方にも聞いてもらいたいということでお願いしたところ、快く引き受けていただけました。

内容は非常に難しいものでしたが、まとめると次のようなことだと思います。

ハマスによる突然のイスラエル攻撃と、その後のイスラエルによるガザ地区侵攻。連日のニュースでも取り上げられていますが、子どもたちまでも皆殺しにしようとしているまさにジェノサイドです。

この問題について、ユダヤ教とイスラム教の歴史、イスラエルとパレスチナの建国の歴史からひもといて、現在の状況、解決の糸口、今後の展望を、わかりやすく熱く語っていただきました。ありがとうございました。

解決は非常に困難です。私達にできることは限られていますが、一日も早くガザに平和が戻ることを願わずにはられません。



2023年度高退教会計決算の「繰越金不足」について 事務局次長 和田 茂(会計担当)

事務局次長として、会計担当を引き継ぐことになり、2023年度決算（2023年5月1日～2024年4月30日）作業を行いました。その過程の中で、会計決算上の繰越金額と現に保有している繰越金額とが一致していないということが明らかになりました。

- ・決算上の繰越金額：893,463円
- ・実際に保有している繰越金額：532,209円 → 繰越金不足金額：361,254円

2023年度現金出納簿の記載漏れがないか、領収書未提出の支出分がないかなど、見落としている支出について事務局の皆さん他へ再確認しましたが、ありませんでした。

5月1日の監査では、繰越金不足の問題について報告した上で、2023年度の入金・出金にかかわる部分に限定して監査いただき、多年度にかかわるであろ

う繰越金の問題については監査から外していただきました。(監査本来の趣旨から外れるかもしれませんが、その後の調査との関連で日程的にこの方向で進めざるをえないと事務局で判断しました)

問題の解明にあたって、過去 11 年分の会計決算書で各年度の収入・支出合計、繰越金額、運営安定資金(定期預金)額を調べたところ、2021 年度に収入合計が 372,549 円、繰越金額が 427,697 円、いずれも急増している一方で、同年度に運営安定資金が 457,324 円急減していました。併せて、2020 年度に支出した 40 周年記念関連経費の決算報告がされていないことが判明しました。幸い 40 周年記念関連経費の現金出納記録が見つかり、その総支出は 459,194 円、また運営安定資金から 40 周年記念行事へ 33 万円支出されていることもわかりました。

これらの経過は、40 周年行事が、コロナ禍のもとで当初の計画が二転三転して臨機応変の対応が余儀なくされた点、この行事の主たる総括担当だった故小林軍治副会長(当時)の急逝という予期せぬ事態が生じた点、当時の会計担当者が、健康上の問題もあり記憶と記録が不確かとなっている点などが背景として考えられ、これ以上の解明は困難と思われまます。

上記の内容を資料にまとめて事務局会議、幹事会で報告し、この問題の解明について協議いただきましたが、40 周年記念関連の決算の経緯が詳らかになるような、また繰越金不足の解明につながるようなご発言やご指摘はありませんでした。ただこれまで明らかになったことより、その後の事務局会議では「40 周年記念関連経費 459,194 円は、40 周年記念用の特別会計から支出されたのではなく、運営安定資金から 33 万円を繰り入れた通常の高退教会計から支出されたのではないか。2021 年度の収入合計、繰越金額の急増はそのためだが、ただ当該年度の支出になぜか 40 周年記念関連経費を計上しなかったために現在繰越金不足が生じているのではないか」、それ以外に繰越金不足の原因は考えられないという結論に至りました。

厳密には繰越金不足額と 40 周年記念関連経費の総額は完全には一致しておらず、資料不足・説明不足の感はぬぐえませんが、これ以上の事実解明は困難と考え、事務局会議での結論の方向で定期総会において出席会員の皆さんに資料を示しながら説明し、「繰越金不足は高退教会計において 40 周年記念関連経費の支出計上忘れから生じたもの」ということで了解をいただきました。それに応じて当日総会議案書の決算報告、2024 年度予算案も訂正しました。

高退教の会計処理について会員の皆さんの疑念や不信を招きかねない報告をすることとなり、大変申し訳なく思います。今後の会計処理、また監査についてもよりいっそう注意深くすすめていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。なお、この件に関してご意見その他ありましたら、高退教事務局までお寄せください。

関連資料：訂正した2023年度決算報告、2024年度予算案

2023年度 決算報告 (繰越金訂正版 2024.7.7)

一般会計 収入

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----|-----------|-----------|--------|--|
| 繰越金 | 949,074 | 949,074 | 0 | |
| 会費 | 550,000 | 573,037 | 23,037 | 2,500円(147人)、5,000円(20人)、7,500円以上(12人) |
| 雑収入 | 100,000 | 93,672 | -6,328 | 全教共済交付金 |
| 計 | 1,599,074 | 1,615,783 | 16,709 | |

注) 会費決算額：600,000円(会費収入計) - 22,783円(口座徴収料金) - 4,180円(郵送通知料金)

一般会計 支出

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 残額 | 備考 |
|-------|-----------|---------|---------|-------------------------|
| 総会費 | 50,000 | 50,848 | -848 | 交通費補助、お茶など、集合写真 |
| 会議費 | 140,000 | 138,900 | 1,100 | 幹事会・事務局会議交通費、会場費 |
| 通信費 | 200,000 | 161,104 | 38,896 | 会報発送料、はがき、振込手数料 |
| 事業費 | 253,000 | 183,638 | 69,362 | |
| 集会参加 | 50,000 | 41,900 | 8,100 | 県母親大会参加費、全退教催し物参加補助 |
| 支部交流 | 23,000 | 15,183 | 7,817 | 支部交流会通信費 |
| 作品展 | 30,000 | 23,740 | 6,260 | 要員交通費 |
| 親睦交流 | 50,000 | 16,680 | 33,320 | 新自然歴史探訪関連費、下見費用など |
| 長寿祝金 | 30,000 | 11,680 | 18,320 | 長寿祝金(図書カード)、茶菓子 |
| 雑費消耗 | 70,000 | 74,455 | -4,455 | 会報等用紙、事務用品、パソコン用品など |
| 負担金 | 100,000 | 92,770 | 7,230 | 県母連、県社保協、全退教、おかやま教文センター |
| 支部還元金 | 100,000 | 92,300 | 7,700 | 1万円×6支部+100円×人数 |
| 事務局費 | 10,000 | 2,760 | 7,240 | 事務局行動費 |
| 予備費 | 746,074 | 0 | 746,074 | |
| 計 | 1,599,074 | 722,320 | 876,754 | |

一般会計 収入 1,615,783円 - 支出 722,320円 = 893,463円

次年度繰越金：893,463円 - **361,254円** = **532,209円**

太字部分を追記

* 運営安定資金 次年度繰越：86万円(ゆうちょ銀行定期貯金4件) + 190,606円(郵貯総合口座)

* 修学援助金カンパ：152,943円(55名より) 高教組へ

監査報告

2023年度収支決算について監査した結果、金銭出納帳等関係書類は適正に処理されていることを報告します。

2024年 月 日

会計監査 _____ 印

会計監査 _____ 印

2024年度 予算案 (繰越金訂正版 2024.7.7)

一般会計 収入

| 費目 | 23年度決算額 | 24年度予算額 | 増減 | 備考 |
|-----|-----------|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 繰越金 | 949,074 | 893,463 532,209 | -55,611 -416,865 | 40周年閉運経費 361,254円を 2023年度繰越金で処理 |
| 会費 | 573,240 | 550,000 | -23,240 | 2,500円×200人、5,000円×10人 |
| 雑収入 | 93,672 | 100,000 | 6,328 | 全教共済交付金、全退教還元金 |
| 計 | 1,615,986 | 1,543,463 1,182,209 | -72,523 -433,777 | |

一般会計 支出

| 費目 | 23年度決算額 | 24年度予算額 | 増減 | 備考 |
|-------|---------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 総会費 | 50,848 | 55,000 | 4,152 | 交通費補助、会場費、集合写真、お茶など |
| 会議費 | 138,900 | 140,000 | 1,100 | 幹事会・事務局会議交通費、会場費 |
| 通信費 | 161,104 | 200,000 | 38,896 | 会報発送料、諸文書発送料、振替手数料 |
| 事業費 | 183,638 | 260,000 | 76,362 | |
| 集会参加 | 41,900 | 50,000 | 8,100 | 全退教、諸集会参加費補助 |
| 支部交流 | 15,183 | 20,000 | 4,817 | 支部交流会通信費 |
| 作品展 | 23,740 | 30,000 | 6,260 | 展示用品、要員交通費、輸送費 |
| 親睦交流 | 16,680 | 50,000 | 33,320 | 新自然歴史探訪 |
| 長寿祝金 | 11,680 | 30,000 | 18,320 | 長寿記念品、祝い会補助 |
| 雑費消耗 | 74,455 | 80,000 | 5,545 | 会報等用紙、パソコン消耗品、事務用品 |
| 負担金 | 92,770 | 100,000 | 7,230 | 全退教、県社保協、県母連、おかやま教文センター |
| 支部還元金 | 92,300 | 100,000 | 7,700 | 1万円×6支部+100円×350人 |
| 事務局費 | 2,760 | 10,000 | 7,240 | 事務局行動費 |
| 予備費 | 0 | 678,463 337,209 | 678,463 337,209 | 事務局備品整備 (パソコン、周辺機器) |
| 計 | 722,320 | 1,543,463 1,182,209 | 821,143 459,889 | |

日頃の生活から生まれた意欲作が並んだ作品展 — 第24回作品展開催される —

岡山支部 島田 宏恵

第24回作品展は、7月3日（水）から7月7日（日）までの日程で、生涯学習センターで開催されました。

出品者は協賛を含めて15名（54点）でした。数年前から出品者の減少が続き、今回は20名を割りました。今まで欠かさ



ず出品されてきた常連の方が、高齢や病気が理由で断念されたことは寂しい限りです。「この作品展はレベルが高く、出品を躊躇しているのでは」との声も聞かれました。優劣を競うコンテストではなく、会員相互の交流・親睦や高退教の活動の宣伝が目的です。既存の分野にとらわれない新しい作品、日頃の生活から生まれた作品を気軽に出品していただきたいです。



また、来場者が身内に限られ少なかったことも、克服できませんでした。センター来場者や講座受講者に声掛け・呼び込みもしましたが限りがあります。会員や高教組の先生方にもっとPRして、作品展が交流の橋渡しになることを願っています。

数年来の課題は克服できていませんが、今回も絵画・写真・書・手芸・工芸・文芸など意欲的な作品が並べられました。

鑑賞者の感想をいくつか紹介します。「水間さんの『太平洋戦争で焼失した城』から岡山空襲の話に広がった」「烏城の模型に子供が興味津々だった」荒木さんの写真に「立体的な写真が撮れる秘訣を聞きたい」「プロ並みだ」内田さんの刺し子と田中さんのリメイク手提げに「時間と手間をかけた細かい美しい作品に感心した」。岡田さんの手作り歌集に希望者が多く、準備した4冊では足りず、急遽増刷して最終日にみなさんにお渡しすることができたそうです。花田さんの絵手紙に「添えられた俳句が味があって何ともいい」武田さんのワークショップは「約3時間かけて完成、すばらしい作品ができた」。例年趣向を凝らして実施されていますが、事前にPRすれば参加者も増えるのではと思いました。

総会終了後、作品を囲んで歓談する姿があちこちで見られ、高退教らしい光景だなと胸にくるものがありました。創作に苦しみはつきもの、でも出来上が

った作品を大勢の方に見ていただく喜び、それが次の創作につながる力になると信じています。

〈展示作品一覧〉

| 【 絵 画 】 | | 【 写 真 】 | |
|--------------------|--------|-------------------|-------|
| 「黄落（津山城書物櫓跡）」 | 島田 宏恵 | 「ミルキィウエイ」 | 赤座 匡 |
| 「曹源寺山門」 | | 「夏のことぶれ」 | |
| 「緑陰」 | | 「輝くとき」 | |
| 「岡山市民会館」 | 武田 芳紀 | 「水路を往く」 | 荒木 敏和 |
| 「夏は来ぬ」 | | 「食餌どき」 | 井上 俊青 |
| 「紅燃ゆる」 | | 「歩く」 | |
| 「アフロディーテ」 | | 「メコンの残照」 | 大飼 繁 |
| 「桜・和一空と木」 | 中村 清子 | 「駒ヶ岳の思い出」 | 中山 実典 |
| 「旅の記憶・水（タヒチ）」 | | 「蒜山の5月」 | |
| 「旅の記憶・水（ウユニ）」 | | 「平山郁夫先生の見た風景」 | |
| 「旅の記憶・水（ニューカレドニア）」 | 美甘 晃 | 「1993年代ドイツのごみ対策」 | 三宅 克幸 |
| 「日生小景」 | 水間 正雄 | 「四月の霧の朝」 | 山本 和弘 |
| 「太平洋戦争で焼失した城Ⅰ」 | | 「六月の青い朝」 | |
| 「太平洋戦争で焼失した城Ⅱ」 | | 「十月の朝列車」 | |
| 「ポピー」 | 三宅通明 | 【 絵 手 紙 】 | |
| 「アジサイ」 | | 「絵手紙」 | 花田 千春 |
| 「金山寺山門」 | | 【 書 籍 】 | |
| 「コウノトリ」 | 三宅 茂子☆ | 歌集『海と月と星と』 | 岡田 憲朝 |
| 「春水」 | 武田 昭一 | フォトブック | 山本 和弘 |
| 「椿」 | | 『ナードサークの四季散歩』 | |
| 【 木 工 】 | | 【 漆 器 】 | |
| 「六角飾り棚」（タモ） | 島田 保弘☆ | 「トンボ紋楕円皿」 | 木村 徳子 |
| 「遊山箱」（樺） | | 「水仙紋小皿」 | |
| 「菓子鉢」（樺） | | 「8寸ひがし盆」 | |
| 【 模 型 】 | | 【 手 芸 】 | |
| 「烏城模型」 | 水間 正雄 | 「古衣料のリメイク 手提袋」 | 田中 豊子 |
| 【 書 】 | | 「古衣料のリメイク ブックカバー」 | |
| 「杏花飛簾散餘春」 | 小川 澄雄 | 「古ジーンズのリメイク 手提袋」 | 内田 恵子 |
| 「微言廣被」 | | 「刺し子のクロス」 | |
| 「山紫水明」 | | 「手編みプルオーバー」 | |
| 【 魚 拓 】 | | 「小物入れ（壁掛けタイプ）」 | 難皮 欽子 |
| 「メバル」 | 岡田 憲朝 | | |

☆印は協賛出品してくださった方です。



第2回新自然歴史探訪(通算52回)報告 —自然と歴史が織り成す「癒し」を求める旅—

備西支部 清水 親義



5月26日の日曜日、私たちの自然歴史探訪の旅は、岡山駅西口のバス発着場から始まりました。21名の仲間と共に、小型バスに乗って智頭町へと出発。集合時には、全国植樹祭で来岡中だった天皇を警護するSPによって、集合場所の目印となる旗を仕舞うよう指示されるという予期せぬ出来事もありましたが、それもまた旅の一コマとなりました。

行きのバスの中では、参加申込のスピードが余りに早く、すぐに締め切らなければならなかった事情や、事前の下見、パンフ作り、受付・案内など、影で支えて下さった担当幹事の紹介や、参加メンバー全員の一言自己紹介などが行われました。

そして、智頭と言えば林業の町。私たちを迎えてくれたのは、周囲を圧倒するように林立する杉の木々そのものでした。智頭町に到着後は、トイレ休憩の後、屹立する杉の中を縫うように、対向車の来ないことをひたすら祈りながら、細い道をクネクネと登り、水車小屋の脇を抜けてやっと板井原集落に到着しました。そこには先客と思しき車が数台。



橋を渡って、私たちは「カフェ和佳 (のどか)」で、地元の味覚である鮎の塩焼きや柿の葉寿司を楽しみました。集落の住人はわずか3名と聞き、一抹の寂しさを感じずにはおられませんでした。

お店の脇を流れる川の水は清らかで、木陰の涼しさを一層際立たせてくれました。



昼食後は、智頭町の誇る歴史的建造物である石谷家を訪れました。土間に入って、吹き抜けとなっている頭上を見上げて思わず声をあげる様子は、8年前の自然歴史探訪の時と変わりありません。ただ、記憶の中にある形ばかりの梁とは違って、今現に頭上にある巨大な松の丸太の存在感は圧倒的で、過去の記憶は単なる映像として瞬時に押しつけられてしまいます。

クレーン車も無い時代に、どうやってあの長大な梁をあの高みまで持ち上げて架け渡したのか、日本の伝統的な建築技術のレベルの高さに思いを馳せながら、ただただ見上げるしかありませんでした。

巨大なものに圧倒された後は、主屋の一号蔵展示室で、小さな小さなものの姿に圧倒されました。

門永哲郎氏の野鳥彫刻作品展が開催されていたのです。一つの木片から彫り出して彩色してある木鳥(ことり)は、解説文にあるように「神宿る細部」の力でヒラリと空に舞い上がりそうに見えたのです。

庭園の美しさも、私たちの目を引き心を和ませてくれました。縁側に寝そべり、くつろいだ姿勢で静かに庭を眺める人々の姿が印象的でした。

石谷家住宅見学の後は、西河克己映画記念館に行く人、かつて宿場町として栄えた街並みを散策する人など、各自が智頭町の魅力を自由に探求する時間となりました。

帰りのバスの中では、智頭町の話だけではなく、久しぶりにかつての同僚とノンビリ旅ができ感激したとか、知りたかった同僚の消息などを聞くこともでき本当に楽しい1日だったとか、あちこちで話の花が咲きました。板井原集落を見て、自分が育った故郷を思い出し、懐かしさ一杯の気分になったという人も。



智頭町への旅は、多くの発見と感動、そして「癒し」を与えてくれる忘れられない旅となりました。

山村のご馳走（昼食レポート）

岡山支部 衣笠 祥子



細身の鮎の塩焼きと地元の野菜の煮物。そして緑の柿の葉の上に塩漬けの鱈の切り身と山椒の実を2粒のせた握り寿司。ちょっとイメージが違ったけれど「郷土料理の“柿の葉寿司”だ」と説明があった。

絶品は味噌汁だった。特別な味噌かと尋ねると「酒粕を少し加えている」とい

うこと。おかわりをした人もあった

古民家カフェ「和佳（のどか）」での昼食は、細い山道を登り、人影のない廃屋の村で食べるということも“ごちそう”なのかもしれない。



再び注目をあびる「倉敷市歴史民俗資料館」 のスケッチ

備西支部 武田 芳紀

倉敷市歴史民俗資料館は、もともと大正時代に作られた倉敷幼稚園の園舎で、洋風建築の瀟洒な建物です。1981年に倉敷市役所の東駐車場の一角に移築されたものです。現在は歴史民俗資料館として、幕末から現在までの教科書が展示してあります。

また八角形の展示室（旧遊戯室）は、園舎としての工夫が残された施設であり、その面でも注目されています。ただ残念なことに最近ほとんど忘れ去られたような状態で、私も以前一度覗いてみましたが、誰も訪れる人はなく閑散としていました。せっかく力が入った展示もなされているのに残念に思えた次第です。

ところが最近この施設が再び脚光をあびることになりました。それは倉敷市の「市庁舎等再編計画」により、倉敷市立中央図書館を核とした諸公共施設（労働会館、憩の家、市民活動センター、国際交流センターなど）の複合施設が設置されることになり、この資料館の建物も、その再編計画で関連施設として取り込まれることになったのです。この複合施設は現在の温水プール（廃止予定）、旧焼却場の敷地などを活用して建設され、その野外ゾーンの重要な建物としてこの資料館が取り込まれることになっているというわけです。

実は倉敷市は中央図書館の複合施設への移転に際して、「民間活力の導入」を掛け声として、運営を市の「直営方式」から「民間への指定管理」（＝民営化、たとえば、高梁市では「ツタヤ」が指定管理業者として選定された）にするねらいもあったようです。しかし、それ以前には市は、図書館の運営には「民営化はなじまない」と指摘していたにもかかわらず、です。

現在、建設を請け負う業者の選定の段階に入っているのですが、民営化に反対する市民の運動の高まりや議会での反発もあり、「運営の仕方」については棚上げの状態ハードの方を推し進めているという現状です。ともあれ、この歴史民俗資料館とならんで、その複合施設の在り方についても目が離せない状態です。



出会いとスケッチの旅 ニュージランド編(2)

備西支部 水間 正雄

対岸から見たオークランド市街



対岸から見たオークランド市街

中央のスカイタワーの 192m からスカイジャンプが出来ると聞いたが、ジャンプを見るチャンスはなかった。

オークランドに着いて数日過ごしている間、ユースホステルカードで割引のホエールウォッチング船に乗った。残念ながらクジラには遭遇しなかったものの、魚群を見つけたカツオドリの大群が、飛来して上空から次々にダイビングを繰り返す大迫力の光景を間近で目にすることができた。

(以下の部分は、本当はこのニュージランド編の最後に書くべきものだが、同じユースホステルに関する事なので、続けて書いておくことにする。)

オークランドのこのユースホステルには、帰国前にもう一度訪れ、2泊した。

旅先のユースホステルで出会った日本の看護師(現在留学中)の2人の女子学生に、「帰国前の〇月〇日に、オークランドのこのユースホステルに行くよ」と言っておいたところ、彼女たちは本当にそこに泊ってくれていた。

その夜出会った飛驒の家具職人も仲間になってくれて、私を含めた4人で、ニュージランド最後の夜を「送別会」として大いに飲み語り合った。

ロトルアの家

温泉の街として有名なロトルアで、ふと目にしたこの家が気に入ってスケッチをしていると、「私は画家なんだが」と言って熟年の男性が話しかけてきた。「近くに住んでいるのでスケッチが終わったら家においで!」と地図を書いて渡してくれたので、訪問してみた。

入り口から入ると、「所狭し」と大きなキャンバスがたくさん乱雑に置いてある。

期待していたビールやワインは出なかったが、次々に持ち出してくる自信作と思える作品の説明を聞いた。「非常に!」とまではいかなかったが、話は面白く、参考になることも多々ある楽しいひとときだった。



ロトルアの家

ワイトモユースホステル



ワイトモユースホステル

真っ暗闇の洞窟、一斉に点滅する土ポタルの幻想的な光の空間を小舟は進む。手の届くところにある星座は「銀河鉄道の夜」を疑似体験させてくれる…。

ワイトモ洞窟の近くにあるロッジ風のユースホステルに着いたのは、夕食のオーダーストップの後だった。

売店もないし街から離れているし、間

食のおやつも持ち合わせていないし…ということで、「空腹力」を勇気にして、私はテラスで食事中の家族に状況を説明して、「お裾分け」を頼んでみた。

すると有り難いことに、気持ちよく食事の仲間に入れてくれることになった。

また、「オーストラリアでは大きな牧場を営んでいるので、馬にも乗せてあげる」と言って、住所・電話番号まで書いてくれた。

ワイトモユースホステルでは、この他にも色々な出会いがあった。

この国での旅行業を目指している日本の若者。彼からは、今までの仕事やこれからのプランや周到な手順などを聞き、外国で起業する心意気に感動した。

また、日韓関係について語る日本女性にも。彼女は、出会った若い韓国軍人（アメリカ留学に抜擢された経歴を持つ）が、「日本との過去の屈辱的な関係にこだわるのではなく、新しい関係を築くことに力を注ぐ」と主張したと話してくれた。

韓国の青年とも出会ったが、この若者とは帰国前のオークランドのユースホステルで再会した。



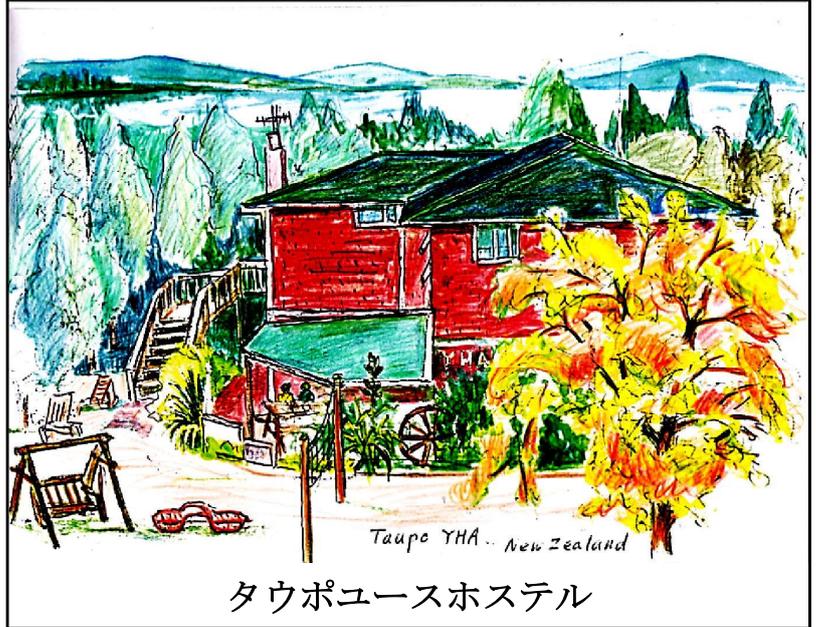
ワイトモの羊牧場

タウポユースホステル

2階のベランダからは湖が望めて、庭にある大きな昔の洗濯たらい型の湯船は温泉の掛け流しだった。

男女7～8人、水着で桶の内側に寄りかかり、車軸に向かって足を伸ばしておしゃべりを楽しんだ。

除夜の鐘の頃、イギリス人の老夫婦や若者を誘って輪になって手を繋ぎ *Should auld acquaintance be forgot...♪* と「蛍の光」を歌って新年を迎えた。



「Happy new Year! と周囲の人とキスをし合うところもある」と聞いたことがあるにはあるが、ここでもそうはしないし、シチリアでもスペインでも、誰もキスもハグもしなかった。

ユースホステルには共同のキッチンがあり、それぞれが食事を作っていて、「おいそうだね」と交換もする。

ヘルパーをしている日本人の女の子がスパゲティを作ってくれて一緒に食べたのがきっかけとなって、次の日はスーパーで大きなビフテキを2枚買って来て一緒に料理し、3日目も…と続いた結果、娘のような年頃の子となんだかくすぐったいようなムードになって去り難かった。

高垣章二先生を偲ぶ

岡山支部 岩上 隆雄

高垣先生が亡くなられて、なんとも言えない淋しさ、空しさを感じている。どうか無事成仏なさを祈るばかりです。

高垣先生は私の一年後に定年を迎えられた。そして、それまでの創作作品をまとめて『鬼から鬼へ』と題した創作作品集を作られた。

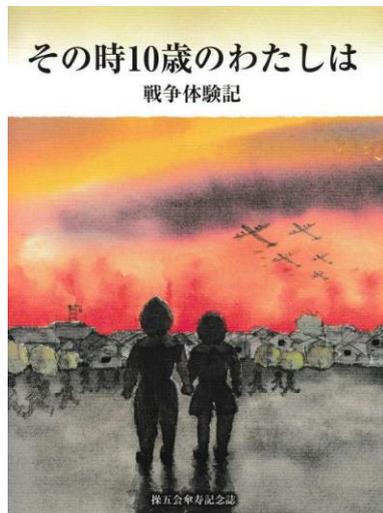
私はその時、納屋をつぶして、農協から2000万円を借りて、鉄骨建ての作業場を作っていたので、声をかけることができなかった。

佐原佑明先生は、この作品集の中で、「これらの作品は常に根底にずっしりと重く考えさせるものをたぎらせてい



る。そうした作品の多い中であって、第 20 回の中国大会（1982 年）の『ハトポッポの歌』（註、米軍機が横浜の民家に墜落した事件を下敷きにした作品）を全国の人々に見て貰えなかったのは、老生として残念でならない」と書いておられる。私はその件で、かつて山本章二先生と、高垣先生が前に子供さんを亡くされていたから、この問題が取り上げられたのだろうと話していた。森礼男先生は、中国大会で、全国へ代表として送る作品を選定する会議の後、私に『ハトポッポのうた』は代表に選ばなかった。それでいいだろう」と話された。私はその選択は森先生の自由に属する部分だから、いいよと言っておいた。とは言うものの、新聞の記事の一部をつかまえて、お芝居の台本を作ってしまうとは大変な能力だと思う。森先生には絶対にできない仕事だ。

またこんなこともあった。永田陽二君の作品「鬼よさらば」を持って、最初に全国大会に出演した時のこと、一本角と二本角の鬼の差別、角を外して人間の世界へとつながる世の中は、そのまま、この世の部落差別に置きかえられるのではないかとすれば、部落解放のやり方が問題になるのではないかと心配し、高垣先生には心の準備をお願いしておいた。そういう時の理論の組み立ては、彼に勝るものはいなかった。実際、広島代表からも、時の全国高演協の代表の人からも、差別問題について「分かっているだろうな」と言われた。私は「はい」と答えておいた。高垣先生の所には、どんな形で話が行ったのか、



分からない。ともかく大問題にはならなかった。

もう一つ、操山高校の同期生と計って、戦争体験記「その時 10 歳のわたしは」を出版されたこと。そして玉野高校演劇部卒業生で青年劇場の俳優浦吉ゆかさんらと計って、作品集の朗読劇を上演されたこと。これも岡山空襲の実態を記録に残す点で、大変大切なことで、高垣先生なしには実現しなかったことではないか。先日先生のお宅へ伺った時、一冊もらって帰った。私も空襲体験者の一人として、表紙の絵を見ただけで、あの日を思いだした。

高垣先生を亡くしたことは生き残った我々にとって、大変な損失であったと思う。ひたすらご冥福をお祈りいたします。

【編集部付記】

高退教事務局長を務められたのち、長く顧問として支えていただいた高垣章二さんが 6 月、亡くられました。幾人かの方々に追悼文の執筆を依頼しましたが、哀悼の思いは人後に落ちないが、職場も同じで高校演劇の指導でもつながりの深い岩上隆雄さんが最適任だろう、と口を揃えておっしゃいます。その

事情を告げて、是非にと執筆をお願いし、文章を寄せていただきました。

当時の玉野高校演劇部は、高垣、岩上、森礼男という傑出した顧問に恵まれ、特筆すべき活躍を続けていました。生徒たちは、高垣、岩上両氏を、「ガキさん」「ガミさん」の愛称で呼び分けていました。

私事ながら、新任時代、当時高教組書記長だった高垣さんを、諸会議などの場の後方の席から仰ぎ見たのが、お目にかかった最初だと思います。教職3～4年目の頃、なりゆきで評議員を引き受けた頃、時あたかも「主任手当支給反対・抛出」等のたたかいを理路整然と提起しておられた姿は、不屈・毅然・確信のオーラに包まれ輝いて見えました。反面、ちょっとその鋭さが怖くて、余りお近づきにならないのが賢明か（笑）とも感じていました。

2校目の転勤先玉野高校では、職場の要としてフルに活躍しておられた高垣さんに、間近で接する機会が増えました。組合はもとより、学校運営にも欠かせぬ存在で、また当時としては先駆的に、校内の成績処理・情報処理を、コンピュータ・プログラムを自作して縦横にこなす姿は超人的とも言えました。生徒会、生活指導、担任、学年運営等々、様々な場でご一緒するなかで、複雑・困難に思える事態をも的確にしかも愉しく乗り越えていく体験は私にとって貴重でした。

とりとめもない思い出は尽きませんが、その頃、分会役員、学年団、また同じ国語科の相棒としてもお世話になった山本繁幸さんが、昨年末に急逝され、続けて高垣さんの訃報に接することになり、いつまでも悲しみから立ち直れません。この場を借りて改めてご冥福を祈ります。

ちなみに、岩上さんが紹介されている朗読劇「その時10歳のわたしは」は、2016年6月25日に岡山市民文化ホールで公演されました。これには高垣さんのほかにも、高退教関係者が複数タッチしておられました。中でも、戦場に赴く出征教師に訓話を垂れる校長役を演じたのは、当時高退教事務局次長で会報編集委員でもあった故居郷毅さんでした。その居郷さんは、会報第151号（2017年10月発行）に「教育フォーラム7現地青年企画朗読劇『その時10歳のわたしは』を振り返って」という文章を寄せておられます。2017年夏、岡山で開かれた「教育のつどい In 岡山」（全国教研）で、現地青年企画として全国からの参加者にこの朗読劇を披露した報告記事です。

高垣さんのもう一つのライフワーク＝映画「あかね色の空を見たよ」制作と上映の運動も、昨日のことのようです。それにつけても、高退教事務局の仕事について、いつでも聞けると錯覚して。ほとんど何も教わずにいたことを、いまさらのように悔やんでいます。 （事務局長 山本 和弘）

2024 年度定期総会返信ハガキの紹介

【岡山支部】

赤木 洋子

入院中です。脳梗塞です。リハビリ中です。利き手の右手首が不自由です。手はお箸が持てるほどになりましたが、右足が立ちません。歩けません。

健康で在ることの大切さを実感しています。

安東 誠

活動計画の緻密で明確な現状分析からは元気をもらいました。

9月4日に95歳を迎えますが、知己の『九条の会』などの活動に微力ながら参加させてもらっています。活動計画に全面的に賛成し、高退教の一層の発展を祈ります。

石原 律子

菜園での野菜作り（というより草取り〈笑〉）とジムでの筋トレに励んでいます。ご盛会をお祈りいたします。

磯部 作

独居老人で後期高齢者になりますが、海ゴミ問題や防災などの調査研究を続けており、講演などもしております。地元町内会では顧問を辞め、副会長になり忙しくしています。総会などは、地理学会があるため欠席いたしますが、またよろしくお願い致します。

梅谷 正弘

返信が遅れて申し訳ありません。

病院通いが仕事ですが、とりあえず元気です。

大倉 貴

お世話になります。

岡本 耕治

病院とおともだちになっていません。

小川 澄雄

「岡山古文書を読む会」で江戸時代の筆文字と格闘しています。くずし字はむずかしい。十数年やっても、読めない文字はやっぱり出てきます。悩むことも楽しんでいきます。

岡本 逸郎

いつもお世話になっておりますこと、感謝しております。

川鍋 暢子

すみません。考査期間中で4クラス分採点があるので持ち帰る可能性が高く出席できそうにありません。

河原 和子

今回は 所用のため残念ながら欠席させていただきます。

河内 郁子

82歳になりました。なんとか元気にやっています。

お返事が遅くなりすみません。

衣笠 祥子

何事も現状維持を目標に暮らしています。

定広 輝海

高退教の行事に参加できなくて申し訳ありません。会報はいつも楽しみに待っています。農作業、将棋支援員、造山古墳、ボランティアガイドなど、充実した(?)日々を送っています。 自公政治を一刻も早く

変えなくてはなりませんね。

佐藤 静雄

竹内良雄先生の 岡山大学 山岳部 60 年 記念誌に書かれた原稿読みました。私も 岡山労山 50 年記念誌に少し書きました。まだ、ヒマラヤへの夢を抱いております。

島田 宏恵

加齢やコロナ禍の影響で体力気力の衰えは否めませんがまずまず元気に暮らしています。出来るだけ外に出て楽しいことや元気の素を見つけるようにしています。

白神 憲一

岡山理科大学で 非常勤講師を続けています。

鈴木 實

ご苦労様です。

内外ともに物騒になりましたネ。年でも、休む暇がありません。

高見 京子

学校図書館とかかわる活動をずっと続けています。文学のまち岡山(ユネスコ創造都市)にもかかわっています。

徳方 宏治

歴史の本を読んだり畑仕事などして元気で過ごしています。

中村 清子

体力は年相応におとろえてきましたが、余生を目いっぱい楽しんでいきます。

やりたいことがたくさんあって、時間が足りません。

難波 欽子

多忙で、責任のあることに追われていることを反省し始めました。「80歳の壁」幻冬舎新書、和田秀樹著を読みました。

西村 晴江

今年度も、週に一度留学生に日本語を教えています。ネパール、ミャンマー、インドネシアからの学生が増えています。

ご盛会をお祈りします。

林 哲士

よろしくお祈りします。

美甘 晃

近況：忙しくしています。孫守と非常勤で行っている授業で、若さをとりもどしています。

三村 茂

3 月、フィリピン ルソン島一従軍看護婦人と第 10 連隊戦跡をたどる旅一に行ってきました。よくこんなところを何百キロも逃げたものだと驚きました。

三宅 克幸

85 歳の誕生会（早めの）をひらいてもらったのをきっかけに久しぶりに総会に出席します。よろしくお祈りします。

山口 京子

お世話になります。体の衰えはありますが、趣味の朗読と昔話の語り、公民館、幼稚園、小学校で、発表させていただき、元気をもらっています。また、交流会には参加したいです。

山本 和弘

去年の近況報告とほぼ同じで、高退教、相談ネットワーク、年金者組合、地元町内会その他、キャパシティを超えた用務に青息吐息の生活。11 年目になるブログを、愚痴のはけ口に使っています。

【備南支部】

石川 昌宏

先月、3 年間闘病中だった妻が亡

くなり、45年ぶりの独身生活を送っています。

犬飼 繁

天城高校に週10時間、倉敷ビューティーカレッジに隔週で2時間、非常勤講師をしています。

岡野 喜美雄

会費納入遅れました。よろしく。

萱 栄次

畑の草取りや、ボランティアで、毎日何かをしています。おかげで、なんとか元気ですごしています。

草薙 律

あんな裏金作りを政治家の「先生たち」が示して反省もなければ、地域の組織の役員の中には違法な裏金作りを当然と思っている人たちがいます。根深いです。

2024活動計画に賛成です。

正保 宏文

家族みんなから「スマホを持って」といわれて、かたくなに拒否してきました。ところが、転機がやってきたのです。去年、マイカーの寿命が来たので、車を買換えることにしました。そしたら、車屋の人がスマホをもった方がよいというので、苦肉の策(?!)で、去年の9月29日に1円スマホを買いました。でもスマホを使いこなすことができず、1円分位しか利用していません。トホホのホ。

武田 昭一

5月末、児島で展覧会をやり、作品を車に積んで埼玉と倉敷を往復。免許の返納など、とんでもありません。

平松 芳子

いつもお世話になっており有り難うございます。

総会議案につきましては、すべて賛成いたしますのでよろしくお願い致します。

当日のご盛会をお祈りいたします。

三宅 ちはる

老老介護の日々です。愛犬まで老犬です。

依田 清

人間の原点、近隣の人との交流が減ってきている昨今、ついスマホの交流に頼っています。若者との繋がりには皆無で寂しい限りです。蟄居老人も多いようです。便利さがこのようにしたのでしょうか。

【旭東支部】

井上 進夫

気力体力の衰えを少しでも遅らせるため、体を動かすことに努めています。

池上 貴久雄

きちんとした総会要項、さすがだと思います。

もうすぐ83歳！体の方は変わりはないのですが、頭の回転が鈍くなりました！

岡田 憲朗

支部交流会と新自然歴史探訪、楽しく充実した時間でした。

小野 信義

身体のためにソフトテニス、頭のために自己満足の随想、小説などを書いています。

岸本 幹雄

今年の6/15(土)で満70歳になりました。今年も週2日(4時間)玉野高校の非常勤講師をしています。この4月から地元(宍甘)の農業水利土木委員をしています。

(なかなか忙しい)

竹内 良雄

緑内障が進むのでしょうか、だんだん見えにくくなってきました。車は近くでしか使いません。みなさま、お元気でご活躍を！

中野 正勝

皆々様お元気にご活躍ください。

私もまだフルタイムの現役で、授業、クラス、部活動、面接、補導に勤んでおります。会の盛会をお祈り申し上げます。

吉永 隆光

2年前、心筋梗塞の治療をしましたが、現在、体調もまずまずで89歳のなかばを送っています。高退教のますますの発展を祈っています。

【備北支部】

相木 トシ子

いつもありがとうございます。元気にウォーキング、草刈りしています。

石井 美鶴

おかげ様で元気にすごしております。議案に賛成します。

大久保 緑子

3月末で完全に仕事を辞めました。早速娘につきそってもらい、カーブス(女性専用フィットネス)を見学、入会しました。「みどりさん ナイスです!!」コーチの言葉掛けに励まされ、週3~4回通っています。

岡本 忠

地域での作業日と重なり、出席できません。

難波 誠

今回も用事があります。

西村 毅

農に精出す日々を過ごしています。今の政府は、ワクチン被害を隠し、マスコミもメディアも報道しない怖い政府になってしまいました。

藤原 洋平

相変わらずの飲み歩きの毎日と、月1~2回の山歩きを楽しんでいます。

逸見 健治

相変わらず農家の仕事をやっています。日本はいずこへ?!。

山本 浩

クラス、ヒヨドリ、猪達と知恵比べをしながら緑と戯れています。汗もしっかりとかいて、日焼けしてませんが、熱中症とは疎遠のようです。

総会の盛会を祈ります。

【備西支部】

青木 精一

「戦犯」の人に興味をもち、私なりに調査しています。今年にはまとめたいと思っています。

浅野 秀夫

お寺のツアーで、淡路島七福神巡りに参加した。大黒様を祀っている八淨寺住職の話を紹介。

大黒様が肩にかけている大きな袋には何が入っているか。現代流に言うところ、一に月給袋、二に胃袋、三にお袋、四に知恵袋、五に堪忍袋の五つの要素が詰まっていて、願う人に小槌で振り分けてくださるとのこと。

月給袋は生活に困らないだけの経済力を、胃袋からは体力と健康を、お袋からは家庭の愛と平和を、父袋

というのではないのですね、女性は偉大ですと笑わせた。知恵袋からは何事も解決できる知恵の力を、堪忍袋からは誰にも負けない忍耐力と精神力を授けていただけるといふ。

岡本 チエ

一番の関心事は朝昼晩、何を食べるかということ、そしてどこの草取りをするか。「考える時間があれば行動せよ」という言葉に出合って、そうだ、と動き始めます。

菅木 一成

最近、8人でやってるギターアンサンブルが、個々のテクニックはともかく、“アンサンブル”になってきているので、ヤル気上昇中！

木村 信行

毎朝5時半頃から、2キロほどウォーキングをしています。今頃は気持ちいいですよ。

清水 親義

相変わらず、畑でいろいろな実験をしています。数年前にやっと「無肥料で防草シートを使った栽培を続けると、作物の育ちが悪くなる」ということに気づきました。情けない話です。しかし、今更無肥料栽培をやめることはできません。

そこで、菌ちゃん農法を試したり、水はけの悪い場所では草を生やす方向に切り替えたりしています。最近やっと、草を生い茂らせて、その草で他の草を防ぐ方法が少し見えてきて、一息ついているところです。

塩飽 英明

皆様、体に気をつけて頑張ってください。

武田 芳紀

昨年12月、玉島(円通寺)にゆ

かりの良寛様の故郷、新潟県長岡市をカメラ(TV用の)を持って旅してきました。ケーブルテレビの地域探訪の番組を手伝って(「アミッション」というタイトル)いたのがこうじての旅でした。はるかにのぞめた佐渡島にも、また機会があれば訪れてみたいと思った次第。

西 功

月日が経つのは早く、5月に80代へ。残された人生、前向きに生きたいと思います。合唱とお芝居も楽しみたい。

文屋 泉

日々是好日、会員の皆様の健康とご活躍を願っています。

【美作支部】

赤座 匡

定期総会議案に賛成します。国内外の世相に立腹し、医療機関巡りの合間に道楽にいそしんでいます。

奥埜 貴之

今年度は、真庭市教育委員会で週30時間働いています。

垂井 一新

当日、町内会行事で中谷川草刈り清掃作業で汗を流しています。体、なんとか動いています。暑さで日中は外出を控えています。農作業も、早朝と夕方の短時間のみ。はかどりません。

友直 久徳

昨年3月75歳で仕事を完全退職し、今は家庭で草取りをしたり花に水をやったりしています。夕食後は、将棋でメール葉書での対局を楽しんでいます。

福田 良夫

元気で毎日草刈、畑仕事（妻の手伝い）に精を出しています。たまには参加しようとは思いますが・・・岡山は遠い！！議案にはすべて賛成します。

森藤 康郎

シルバー人材で、剪定、草刈をしています。冬は雪を求めて、長野、

岐阜、富山、福井、新潟、と旅をしております。

山本 美佐緒

地区の合同作業日になります。高齢化が進み、重要な戦力ですので、欠席できません。

ご盛会をお祈りしています。

編集後記

♪♪♪

○今回の会報は総会の報告が中心です。総会では、「労働組合の意義」が課題となったそうです。若い人たちがばかりではありませんが、産休・育休、介護休暇、賃金などの前進は、あたかも天恵であるかのようにとらえ、先輩たちが組合を中心として訴え続けてきたことの結実だということに思いたらない人が多い。自分では動かず、組合にも入らず、権利だけは、えらい人が与えてくれたと思って享受する、これこそがフリーライド、ただのり、だと思ふ今日この頃です。（平和を当たり前享受している私も同じではありますが。）

○2023年度の決算報告の訂正がありました。よろしくご確認ください。

○総会に先んじて開催された作品展についても詳述していただいています。実際に作品を観て感銘を受け、作品一覽を眺めてあらためて充実したものであったと思ひ出しています。会場となった生涯学習センターは、様々な催しがある場所であり、土曜日の午後は、関係者以外の方も大勢、興味を持って見てくださいました。

○いつも大人気の「自然史探訪」、今回も学びの多い、美味しい旅であったようです。

○水間先生の連載、人々が内へ内へ縮こまっていくような現在の日本社会において、「世界は広いな」、と実感いたします。すばらしいスケッチ、なかなかうまく印刷できなくて申し訳ありません。

○訃報が続きます。けれども亡くなくてもさまざまところに偲ぶよすがはあるものでしょう。追悼を寄せてくださった先生方、ありがとうございます。

○今回初めて編集を担当いたしました。大変だったことの一つは、私のパソコンの一太郎がかなり古いものであり、二代ぐらい前のPCを使わざるを得なかったことです。それから、PC、タブレット、スマホなどさまざまなツールが用いられ、さらに一太郎・花子、ワード、PDF、jpegなどの媒体があることから、USBやSDカードに移してはあっちへやりこっちへやりしながら編集しなくてはならず、メカに弱い私にはヘビーな作業でした。（川鍋）

♪♪♪